

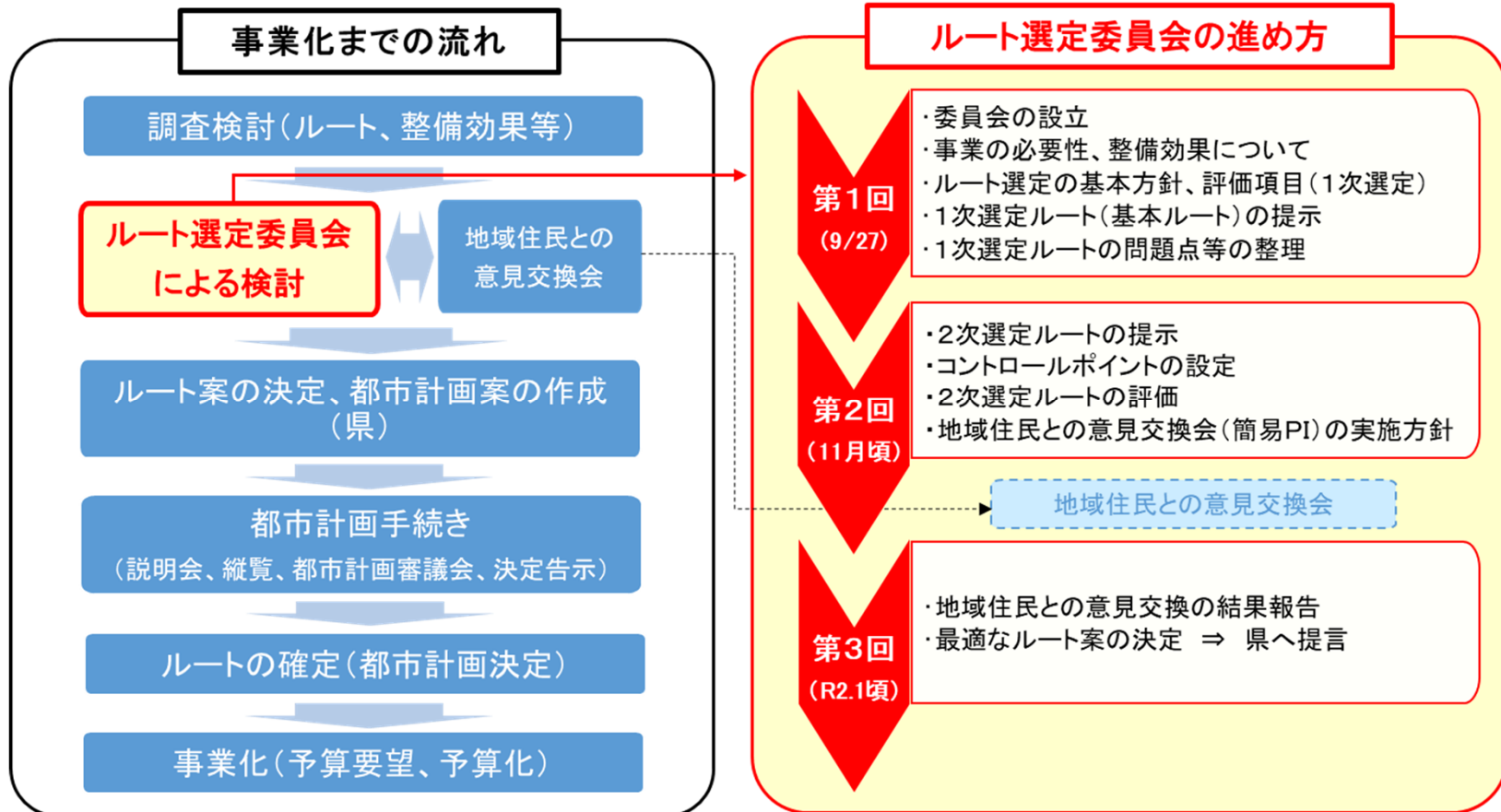
長崎南北幹線道路ルート選定委員会(設置目的、進め方)

設置目的

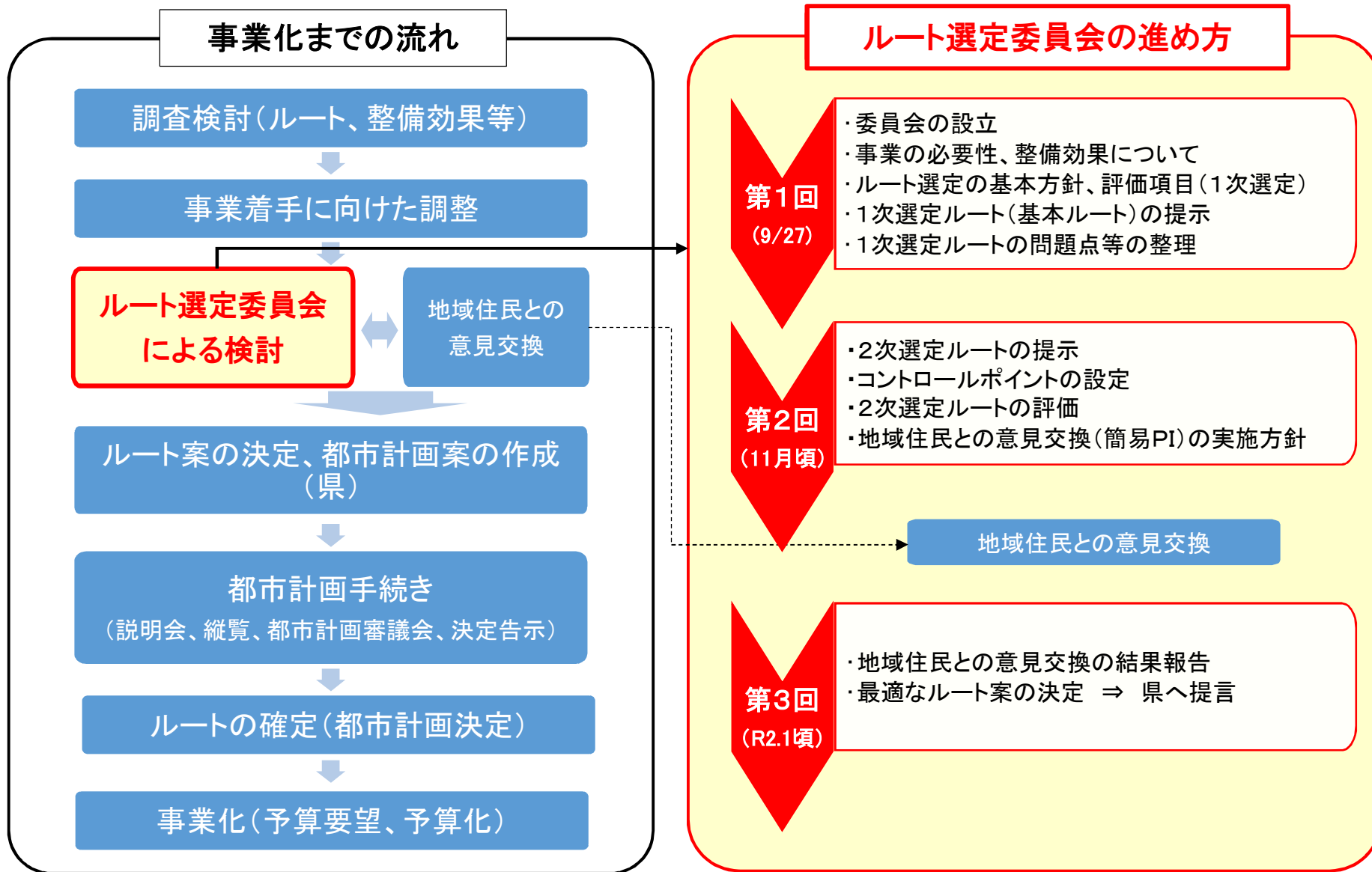
地域高規格道路の長崎南北幹線道路は、長崎市田上から西彼杵郡時津町を結び、広域的な高速道路ネットワークを形成する規格の高い道路である。

未着手の長崎市茂里町から西彼杵郡時津町までの区間では、国道206号などの慢性的な交通混雑が発生しており、その抜本的解消策の一つとして、また、県内主要都市間の移動時間短縮や交流人口の拡大、災害時のダブルネットワークの確保など地域振興や観光・産業振興、防災面にとって、長崎南北幹線道路は非常に重要なものである。

そのため、未着手区間について、各分野から幅広くご意見をいただきながらルート選定を進めていくため、各分野の関係諸機関や学識経験者で構成する委員会を設置して、概ねのルート案(一定の幅をもったルート帯)を比較検討し、最適案の選定を行うものである。



長崎南北幹線道路ルート選定委員会(進め方)



以下、貼り付け加工

長崎南北幹線道路ルート選定委員会(設置目的、進め方)

資料1

